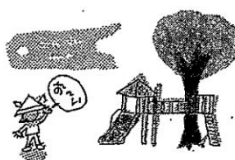


## 境こども園だより



令和 8 年 5 月 1 日 発行

進級、入園から 1 か月が過ぎました。クラスや園庭では子どもたちの笑顔が見られ、笑い声が聞こえるようになりました。子どもたちが新しい環境に少しずつ慣れ、安心できる大人の存在、好きなあそび、なかよしのお友だちが徐々に増えていることを感じ嬉しく思っています。GW 明けも子どもたち一人ひとりのペースに合わせて、安心して楽しく過ごせるような保育を心がけていきたいと思っています。

今、園庭にはかえで組、けやき組が作った鯉のぼりが元気に泳いでいます。一人ひとりの鯉のぼりを合わせて大きな鯉のぼりにしたかえで組。どんな鯉のぼりにしようかと子どもたちが考え、布を染め、針と糸で縫う経験をしたけやき組。他にも各クラスで素敵な鯉のぼりが出来上がり、どれも子どもたちの姿や成長を感じるものでした。昔から子どもの成長を祈る行事であった『端午の節句』私たち職員も鯉のぼりを見ながら、改めて『子どもたちの健やかな成長』を祈り過ごしたいと思います。

### おねがいとお知らせ

★4月よりコドモンの連絡機能を活用していただき、ご協力ありがとうございます。17:00 以降の連絡は、従来通り電話でお願いいたします。



### こどもの日・端午の節句…あれこれ

こどもの日（別名：端午の節句）は子どもたちの健やかな成長を願う日です。古代中国の菖蒲を使った邪気払いの行事が起源です。武家社会で「菖蒲」が「勝負」や「尚武」に通じることから、男児の成長を願う行事に変化し、江戸時代に五節句の一つになりこいのぼりや鎧兜を飾るようになりました。昭和 23 年に男女の別なく子どもの幸せを願う「こどもの日」になりました。

### ～柏餅・菖蒲湯の由来～

柏餅は、柏の葉が春に新芽が出るまで古い葉が落ちない特性があり、「家系が絶えない」「子孫繁栄」と結びついた縁起物として食べられています。関東では柏餅、関西ではちまきを食べる習慣があり、端午の節句の食文化には地域差が見られます。

菖蒲を湯船に浮かべる菖蒲湯は、強い香りで邪気を払い、薬草効果で健康促進になると言われており、5月は季節の変わり目にあたるため、身体を労わり厄除けをする意味があります。

行事予定はコドモンのカレンダーをご覧ください。